

記者発表資料
平成19年9月7日
横浜市公立大学法人評価委員会
委員長 川村恒明
横浜市公立大学法人評価委員会事務局
(都市経営局大学調整課内)
大学調整課長 関森雅之
TEL 671-4271

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

“法人化後2年目の評価結果”

平成18年度公立大学法人横浜市立大学の業務の 実績に関する評価結果を公表します

公立大学法人横浜市立大学は、市が示した中期目標の達成に向けて、市が設置するにふさわしい大学として、市民が誇りうる、市民に貢献する大学となることを目指し、「教育重視・学生中心・地域貢献」という基本方針を掲げて大学改革を推進しています。

地方独立行政法人法に基づき、市長の附属機関として設置した横浜市公立大学法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）は、法人の各事業年度における業務の実績等を評価し、市長に報告することとなっています。

このたび法人化後2年目にあたる平成18年度公立大学法人横浜市立大学の業務の実績に関する評価結果を取りまとめましたのでここに公表します。

■評価結果の概要

今回の評価では、前年度の評価の中で指摘した事項の改善状況などを踏まえながら、全体評価と項目別評価に分けて結果をまとめました。項目別評価では、「大学の運営に関する目標を達成するための取組」、「地域貢献に関する目標を達成するための取組」、「国際化に関する目標を達成する取組」、「附属病院に関する目標を達成するための取組」、「法人の経営に関する取組」等について取組状況を確認するとともに評価及び指摘事項をまとめました。

■今回の評価結果

「中期計画に基づいて年度計画を概ね順調に実施していると認めた。」

* 詳細な評価結果については別紙のとおり

■評価までの流れ

◆平成18年度業務の実績報告書の提出

評価委員会は、公立大学法人横浜市立大学から年度計画上の目標を達成するための取組(7分類)とその目標を達成させるための具体的な取組(14項目)にまとめた「平成18年度公立大学法人横浜市立大学の年度計画における業務の実績報告書」の提出を受けました。



◆評価委員会による評価

公立大学法人横浜市立大学から提出された平成 18 年度業務の実績報告に基づいて、評価委員会は当該事業年度における業務の実績について評価を行うとともに、前年度の評価の中で指摘した事項の改善状況などを確認しました。また、市が示した中期目標の達成に向けて、法人自らが策定した中期計画の実施状況について、調査・分析を行い、総合的に評価を行いました。



法人評価結果(報告書)の作成

【参考（法人評価委員会の概要）】

■目的

「公立大学法人横浜市立大学」の業務の実績に関する評価等を行うため、設置(平成 16 年 12 月 24 日)

■評価委員会の主な事務

- ①各事業年度における業務実績についての評価、
- ②中期目標期間における業務実績についての評価 など

■委員構成

	氏 名	役 職 等
委員長	川 村 恒 明	神奈川県芸術文化財団理事長
委 員	蟻 川 芳 子	日本女子大学副学長
	岸 勲	日本公認会計士協会神奈川県会相談役
	桐 野 高 明	国立国際医療センター研究所長
	山 上 晃	横浜商工会議所顧問

■根拠条文（地方独立行政法人法より抜粋）

(地方独立行政法人評価委員会)

第十一条 設立団体に、地方独立行政法人に関する事務を処理させるため、執行機関の附属機関として、地方独立行政法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）を置く。

(各事業年度に係る業務の実績に関する評価)

第二十八条 地方独立行政法人は、設立団体の規則で定めるところにより、各事業年度における業務の実績について、評価委員会の評価を受けなければならない。

2 前項の評価は、当該事業年度における中期計画の実施状況の調査をし、及び分析をし、並びにこれらの調査及び分析の結果を考慮して当該事業年度における業務の実績の全体について総合的な評定をして、行わなければならない。